

〔 名前 〕 石丸 るみ

〔 職位 〕 准教授

〔 保有学位 〕 修士（子ども学）

〔 担当科目 〕 乳児保育Ⅰ・Ⅱ 赤ちゃんの生活と保育
保育実習指導Ⅰ 保育実践学習Ⅰ 総合基礎演習Ⅰ

〔 専門分野 〕 乳児保育学 保育学（乳児保育研究）

〔 学外活動 〕 日本保育学会会員
保育教諭養成課程研究会会員（乳児部会・保育教諭の専門性を探る部会）日本乳幼児教育・保育養成学会会員
日本乳幼児教育学会会員
日本保育者養成教育学会会員
保育実践研究「あきわ会」
学校法人同仁キリスト教けやき学園同仁美登里幼稚園・同仁美登里保育園「同仁教育・保育研究会-講師」他

〔 主な教育・研究業績 〕

著書

- ・共著「事例と演習で良くわかる保育内容「環境」」（2021）中央法規出版
- ・共著「乳児保育の基礎と実践」（2020）大学図書出版
- ・共著「日常の保育を基盤とした子育て支援-子どもの最善の利益を護るために」（2018）萌文書林
- ・共著「【改訂版】これだけは知っておきたいわかる・書ける・使える保育の基本用語（漢字練習シート付）」（2017）わかば社
- ・共著「【改訂版】これだけは知っておきたいわかる・話せる・使える保育のマナーと言葉」（2017）わかば社
- ・担当本文. 共著者はコメントコラム「先生ママみたい」（2014年第2版）萌文書林
- ・単著「コラム えほんとおぼろ “プーさんのおはなしえほん”」（2007-2008, 2014-2015）世界文化社
- ・単著「おちばで遊ぶ」「消防車」「収穫の秋と食べるということ」見るとき読むとき声かけ例—ワンダー通信11月(2013)世界文化社, P4-7
- ・単著「いもほり」、「片付け」見るとき読むとき声かけ例—ワンダー通信10月(2013)世界文化社, P4-7
- ・単著「豆まき」「友だちと遊ぶためには（いーれーてー）」見るとき読むとき声かけ例—ワンダー通信2月(2012)世界文化社, P4-7
- ・単著「パズルおはなし（しりとりを楽しみながら）」「卵料理」「寒い場所の生き物（ペンギン）」見るとき読むとき声かけ例—ワンダー通信12月(2011)世界文化社, P4-7

- ・単著「「運動会」見るとき読むとき声かけ例—ワンダー通信 10月(2009)世界文化社, P18-19 他
- ・単著「実践例 “劇活動を楽しむ—子どもたちがつくる” —保育専科 12月(1988) フレーベル館, P18-19
- ・単著「実践例 “文字—自発的に興味をもって覚える” —保育専科 10月(1988) フレーベル館, P18-19
- ・単著「実践例 “誕生会の工夫—自分たちで考える” —保育専科 6月(1988) フレーベル館, P18-19 他
- ・単著「月案例 “受け入れることとは” —保育専科 2月(1986) フレーベル館, P36-41
- ・単著「月案例 “プール遊び” —保育専科 8月(1985) フレーベル館, P36-41 他

社会・教育活動

- ・「東京都保育士等キャリアアップ研修」計画マネジメントと分野別リーダー研修「乳児保育」講師(2018-2019)
- ・杉並区開催潜在保育士向け「保育に関する学び直し学習講座」研修講師(2017-21)
- ・私立認可保育園 保育(乳児保育)観察助言他(2016-現在)
- ・保育士資格取得特例講座「乳児保育」において専門知識と保育技術の他、保育所(乳児保育担当保育士として園長として)での経験を有する講師として具体的実践方法や環境の指導や保育内容を提供(2015)
- ・財団法人日本環境協会 エコマーク「乳幼児用品」基準策定委員(2012) 他

研究・論文等

- ・石丸るみ・本山方子(2020)ある乳児保育担当者における困難感とその対処の過程. 日本保育学会第73回大会研究論文集, 903-904
- ・石丸るみ・宮里暁美・神長美津子・柿沼芳枝・中田範子・石倉卓子・竹田好美・駒久美子・齊藤崇・島田由紀子・永井由利子・鈴木美枝子(2020)「認定こども園への移行・設置後の成果と課題(1)」日本乳幼児教育・保育者養成学会／保育教諭養成課程研究会
- ・石丸るみ・安藝雅美・岩崎淳子・上垣内伸子・本田由衣・宮里暁美・八代陽子・山梨有子・咲間まり子・高根栄美・寺田清美・富山大士・野尻裕子・細井香・浅川茂実・梶美保・丸目満弓・矢野景子・大方美香(2019)乳児保育の課題Ⅷ実践記録の活用と研究方法の試案～保育者のかかわり：瞬時の判断に着目して. 2019 保育教諭養成課程研究会研究大会
- ・石丸るみ・帆足暁子(2015)乳児期における社会性の芽生えに関する一考察—自己主張を保障する保育実践. 日本保育学会第68回大会
- ・石丸るみ・帆足暁子(2014)乳児期における社会性の芽生えに関する一考察. 日本保育学会第67回大会